
暗黒詩集

海鏡風蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗黒詩集

【Nコード】

N7395A

【作者名】

海鏡風蘭

【あらすじ】

とにかく暗い詩、壊れ気味の詩を連載していくつもりです。詩集なので、よろしく願います。

人形姫（前書き）

暗い、グロい、狂気を扱った詩しかありません。そういうのがお好みでない方はどうか閲覧なさらないでください。

批評は酷評OKです。むしろ大歓迎ですので、どうぞ遠慮なく。

人形姫

「人形姫」

君が僕の心を持っていったから
僕はもう 空っぽになってしまった
空の色も 花の色も 世界の全ての色は
僕の硝子玉の瞳に映って消える

君は何にどんな意味を求めるの
君と一緒に僕は死んでしまったから
僕の心まで殺した君を僕は
ユルサナイヨ

ここは風が強いよ
ここから飛び立てば君に届くかな
君は遠くに行ってしまったから
風になって君を追えばいいんだね
これだけがリアルだよ
手のひらに残る君の冷たい感触
僕を独りにするなんて
僕も連れてってくれるって約束したのに
ウソツキ

僕は空っぽだから
君のことだけが残響になってこだましてる
僕にさえ意味を求めなかった君を

束縛したらどんな顔するの

もう一度君に会ったら

神様からも悪魔からも届かない所に引きずっていくよ
泣いてわめく君は綺麗だろうね

不思議だよ 僕は

空っぽでもまだ 君の表情だけは覚えてる

不思議だよ 僕は

空っぽでもまだ 君の残した傷だけは痛むんだ

君の存在で僕を埋めてよ

君を縛って硝子ケースに入れて今度こそ二人一緒だよ
もう裏切れないように

もう嘘をつかないように

君を呪うように愛してあげる

僕のお姫様 今行くよ

永遠に終わらない僕の気持ちを君に差し出すから
硝子ケースの中で永遠に

君も僕に微笑んで

君は僕のお姫様

僕だけの人形姫

人形姫（後書き）

気分悪いもの読ませてごめんなさい。

これでストレス解消になればいいんですが。

感想とかもよろしければお願いします。

今後とも精進して参ります。

今に落ちる影（前書き）

相変わらず暗い詩集です。嫌いな人は回れ右でどうぞ。

今に落ちる影

いつか心に抱いた言葉を
そつと唇に乗せてみる
それはとても苦くて
自分の為に泣けない涙が
心の洞穴を通って深い深い水に
音もなく染み込んだ

過去は今に落ちる影
幸せは温もりを失ってセピアに霞む
通り過ぎないものは
あなたが刻んだ形ある痛み
過去は今に落ちる影
眠りの忘却から甦るのは
私の知らない切り裂く冷たさ
魂の冷蔵庫で冷やされた
いつかのあの言葉

言葉だけが私を縛る
今に落ちる影
温もりを失った言葉たち
悲しみのフィルターを通ってくる
過去の冷たい影
時の中で堅く堅く封印して
傷を癒す温もりばかり奪い去られて
閉じられた扉から漏れる記憶に

私は私の闇の中
いつまでも震え続けている

決して去らない影
どこまでも封印できない
それは私自身だから
忘却の底から何度でも甦る
その痛みと傷をそつと抱いて
いつか心に描いた言葉を
そつと唇に乗せてみる
それは過去の臭いがして
私はそつと目を閉じた

幸せの中で紡ぐ言葉は
いつかどこかへ消えて行くものばかりで
憎むことも恨むことも
言葉は私の心さえ裏切る
あなたが私の中に探す影は
私を愛したことすらない誰かで
あなたがくれた刃は
過去という名で私を切り裂く

生きることの苦しみを抱えて
心は安息の地を求めてさまよう
言葉は生きる意味も
生きる理由もくれるけど

命の始まりに眠るような安息は
誰も与えてくれなかったから
指先で言葉を綴る
誰にもすがれない心隠して

諦めるという言葉すら忘れて
私は今も立ちすくむ

日々の光の中で

微笑の中で

不意に甦る絶望 憎しみ 恐怖

刻み込まれた私に流れる過去

全ての始まりに戻らせて

何も与えてはくれない神に

繰り返し祈り続ける

何も知らぬ氣に世界は笑いさざめいて

私は全てに裏切られる

微笑みに隠した傷

今に落ちる影

私は過去に囚われたまま

憎しみと呪いを科して

ずっとずっと

終わらない影を歩いていく

原罪のように

今に落ちる影（後書き）

気が向きましたらポチッとお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7395a/>

暗黒詩集

2010年10月15日17時54分発行